

2年 組 番	名
3年 組 番	前






★二訂版「3. 地震以外の災害から身を守ろう」(P. 9)の学習で使用します。

## ② 大雨・洪水のとき

局地的大雨とは、急速に発達した積乱雲によって、狭い範囲に突然降り出す強い雨のことです。報道では「ゲリラ豪雨」と呼ばれることもあります。短時間にきわめて集中して雨が降るため、総雨量は少なくても周囲からの水が一気に集まる川や低地、建物の地下などでは大きな被害につながる危険があります。

### 雨の強さと影響


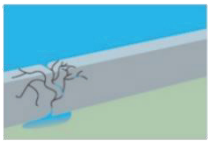

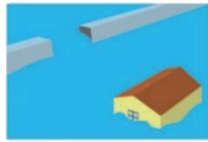

(参考：日本気象協会tenki.jp)

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
				
1時間雨量(mm) 10～20	1時間雨量(mm) 20～30	1時間雨量(mm) 30～50	1時間雨量(mm) 50～80	1時間雨量(mm) 80～
ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感がある
地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	
雨の音で話し声が良く聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
—	ワイパーを早くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	

### 洪水発生メカニズム

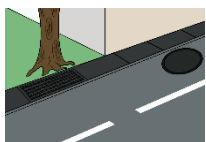

【外水氾濫】 川を流れる水が溢れて、市街地に流れ込むこと

(参考：国土交通省気象庁)

				
大雨や雪解けによって、川の水の量が増え、水かさが増え始めます。	堤防いっぱいまで水が増えると、堤防に水の圧力がかかり始めます。	水が増え、水の力に堤防が耐えられなくなると堤防の一部が崩れはじめます。	堤防の崩れた場所をとって、勢いよく水が流れ出し、家に襲いかかります。	堤防から流れ出した水は、場所によっては、家を破壊・流出したり、家を浮き上がらせたりしながら広がります。水が浸水して来るとすぐ水かさが高くなり、歩行が困難になります。

【内水氾濫】 降った雨水の排水が追いつかず、市街地が水に浸かること

【その他の氾濫】

			
街などに降った雨は、下水道などをとおって川に排水されます。	大雨が降ると川の水位があがり、排水されずに下水道などが溢れてしまいます。	その他にも大雨が降ったとき、道路の側溝がつまったり、道路の低くなっているところに水がたまってしても氾濫は起こります。	

▼ 洪水ハザードマップ



★二訂版「5. 家族で確認をしよう」(P. 12)に関連させて使用します。

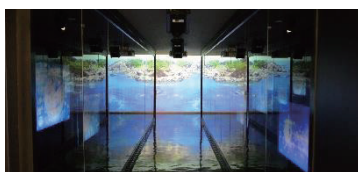


## 八戸市みなと体験学習館（愛称:みなっ知）

八戸市みなと体験学習館は、旧八戸測候所を改修し、湊地域の歴史・文化と東日本大震災の被害を伝える学習の場として、令和元年7月にオープンしました。災害時の防災機能も備えており、東日本大震災の実情や教訓を広く国内外及び次世代に伝承する「震災伝承施設」としての役割もあります。



### 震災タイムトンネル



東日本大震災当時の状況を音声と映像で体感できます

## 八戸市津波防災センター

### 1. 大津波警報発表時の緊急的・一時的な避難施設

大津波警報発表時は、津波の浸水が想定される区域の外へ避難することが原則ですが、逃げ遅れてしまった場合など、避難が間に合わない際の緊急的・一時的な避難施設となります。

### 2. 大津波以外の災害時における避難所

津波防災センターは、避難所として指定され、地震や大雨など、大津波以外の災害時には避難所となります。

### 3. 平常時における防災活動の場

平常時、センターの研修室は防災活動の他、集会、会議の場として利用することができ、防災において重要である地域での相互の助け合い（共助）を支える場所として活用されています。



## 多賀地区津波避難タワー



東日本大震災の教訓を生かして多賀地区に建設された「津波避難タワー」は、高さ約20メートル（避難スペース高さ13メートル）となっていて、想定されている津波より4メートル高く設計されています。

タワーには、居室型避難スペースを備え、災害時に80人を収容することができます。

## 津波避難ビル等一覧

No.	施設名称	避難可能階	収容可能人数
1	八戸小学校	2階以上	1,240
2	城下小学校	2階以上	1,264
3	柏崎小学校	2階以上	1,046
4	小中野小学校	3階	548
5	江陽小学校	3階以上	704
6	下長小学校	2階以上	837
7	城北小学校	2階以上	1,399
8	根岸小学校	2階以上	1,316
9	第二中学校	2階以上	704
10	第三中学校	2階以上	887
11	小中野中学校	2階以上	954
12	江陽中学校	3階以上	608
13	下長中学校	2階以上	1,482
14	市川中学校	4階	502
15	小中野公民館	3階以上	1,100
16	総合教育センター	3階	466
17	県立八戸盲学校・聾学校	2階	437
18	県立八戸中央高等学校	3階以上	742
19	八戸港貿易センター	3階以上	616
20	横浜冷凍	3階以上	441
21	八戸火力発電所	4階以上	630
22	東北グリーンターミナル	8階	500
23	水産会館	6階以上	80
24	東部終末処理場	3階	424
25	多賀地区津波避難タワー	居室部分	80
26	多賀多目的運動場	4階	100
27	八戸市津波防災センター	2階以上	877

[令和4年4月版:現在見直し中]